

都市再生整備計画 事後評価シート

頃末南地区

令和6年4月

福岡県遠賀郡水巻町

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	福岡県	市町村名	水巻町	地区名	頃末南地区			面積	206.3ha
交付期間	平成30年～令和4年	事後評価実施時期	令和5年	交付対象事業費	731.9百万円	国費率	0.4		

1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業		事業名												
			基幹事業	水巻町南部地域への交差点改良、水巻駅への誘導路整備事業、水巻駅南口前広場整備事業、健康増進施設への誘導路整備事業											
			提案事業	-											
	当初計画から削除した事業		事業名				削除/追加の理由				削除/追加による目標、指標、数値目標への影響				
			基幹事業	-				-				-			
			提案事業	-				-				-			
	新たに追加した事業		基幹事業	-				-				-			
			提案事業	-				-				-			
交付期間の変更		当初	平成30年から令和4年		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響		無し								
		変更	-												

2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値		目標値		数 値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因 (総合所見)	フォローアップ 予定時期	
				基準年度		目標年度	モニタリング	評価値						
	指標1	JR水巻駅の利用者数	人／日	4,384	H26	4,468	R3		3,324 (推定値)	×	あり なし	●	コロナ感染症の拡大による外出自粛により、当該利用者数の大幅な減少による	-
	指標2	路線バスの利用者数	人／日	61	H27	82	R3		21	×	あり なし	●	コロナ感染症の拡大による外出自粛により、当該利用者数の大幅な減少による	-
	指標3	水巻駅南口利用歩行者数	人／日	朝 390 タ 267	H27	朝420 タ 300	R3		朝656 タ 525	○	あり なし		外出自粛解除とともに、駅周辺の人口増加により南口利用者も増加したことによる	-
	指標4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	あり なし		-	-
	指標5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	あり なし		-	-

3)その他の数値指標 (当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値		目標値		数 値		目標達成度※1	1年以内の達成見込み	効果発現要因 (総合所見)	フォローアップ 予定時期
				基準年度		目標年度	モニタリング	評価値					
	その他の数値指標1	地区人口・社会増減	人	+1	H29				+30			駅周辺の広場、街路の整備によって、沿道部の開発が進み、社会人口が増加	-
	その他の数値指標2	固定資産税評価額の増減	百万円	2,107	H26				2,392			駅周辺の広場、街路の整備によって、沿道部の開発が進み、集合住宅の建設により、固定資産税が増加	-
	その他の数値指標3	-	-	-	-				-			-	-

4)定性的な効果発現状況	・駅南口周辺は、JR鹿児島線と周辺道路の平面交差によって、恒常的に混雑していた。しかし、交差点改良、街路の整備により、交通量が増加したにもかかわらず、交通環境の改善に寄与している。 ・街路事業の実施によって、沿道利用が促進され、地区人口・社会増に寄与し、ポストコロナにおいて、駅利用者が増加する傾向にある。												
--------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

5)実施過程の評価			実施内容				実施状況				今後の対応方針等			
	モニタリング		-				都市再生整備計画に記載し、実施できた				-			
							都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した				-			
							都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				-			
	住民参加プロセス		-				都市再生整備計画に記載し、実施できた				-			
							都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した				-			
							都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				-			
	持続的なまちづくり体制の構築		-				都市再生整備計画に記載し、実施できた				-			
都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した							-							
都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった							-							

様式2-2 地区の概要

頃末南地区(福岡県遠賀郡水巻町) まちづくり交付金の成果概要									
まちづくりの目標		目標を定量化する指標		従前値		目標値		評価値	
【大目標】 駅周辺における、交通拠点としての機能充実と、安全性を高めるまちづくり 目標1: 町の交通拠点として機能している水巻駅南口周付近の安全な都市基盤整備 目標2: 路線バスや福祉バスの乗り入れを可能にし、交通拠点としての充実 目標3: 駅利用の利便性向上による都市機能の充実		JR水巻駅の利用者数	単位: 人/日	4,384	H26	4,468	R3	3,324(推定値)	R3
		路線バスの利用者数	単位: 人/日	61	H27	82	R3	21	R3
		水巻駅南口利用歩行者数	単位: 人/日	朝 390 夕 267	H27	朝420 夕 300	R3	朝656 夕 525	R5
		-	-	-	-	-	-	-	-
		-	-	-	-	-	-	-	-

基幹事業(道路) 水巻駅南口前広場整備事業

基幹事業(道路) 水巻駅への誘導路整備事業

基幹事業(道路) 水巻南部地域への交差点改良事業

基幹事業(道路) 健康増進施設への誘導路整備事業

提案事業(事業活用調査) 事業効果分析事業

まちの課題の変化	・本事業の実施により、水巻駅へのアクセス機能は向上したものの、コロナ感染症の拡大による外出自粛時は、水巻駅の利用者は大幅に減少したものの、ポストコロナ(外出自主解除)によって、コロナ前以上に回復する状況。
	・ポストコロナ下において、南口利用者数の増加、周辺地区人口の増加、交通量の増加傾向を見ると、本事業による直接的な事業効果は発現してきていると推定される。
	・今後は、引き続き、長期的な視点から水巻駅周辺の居住人口の増加、まちなか居住を進めていくことが重要となる。
今後のまちづくりの方策(改善策を含む)	・水巻駅周辺は、本事業により南口の駅前広場、周辺街路が整備され、沿道利用も進展しつつある。
	・今後は駅周辺の未利用地等について適切な都市的土地利用の誘導によって、居住人口の増加、地域の商業、サービス産業の活性化に向けた取組みが重要となっている。

都市再生整備計画 事後評価シート (添付書類)

(1) 成果の評価

- 添付様式1-① 都市再生整備計画に記載した目標の変更の有無
- 添付様式1-② 都市再生整備計画に記載した事業の実施状況(完成状況)
- 添付様式2-① 都市再生整備計画に記載した数値目標の達成状況
- 添付様式2-② その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)により計測される効果発現の計測
- 添付様式2-参考記述 定量的に表現できない定性的な効果発現状況

(2) 実施過程の評価

- 添付様式3-① モニタリングの実施状況
- 添付様式3-② 官民連携による取組みの実施状況
- 添付様式3-③ 持続的なまちづくり体制の構築状況

(3) 効果発現要因の整理

- 添付様式4-① 効果発現要因の整理にかかる検討体制
- 添付様式4-② 数値目標を達成した指標にかかる効果発現要因の整理
- 添付様式4-③ 数値目標を達成できなかった指標にかかる効果発現要因の整理

(4) 今後のまちづくり方策の作成

- 添付様式5-① 今後のまちづくり方策にかかる検討体制
- 添付様式5-② まちの課題の変化
- 添付様式5-③ 今後のまちづくり方策
- 添付様式5-参考記述 今後のまちづくり方策に関するその他の意見
- 添付様式5-④ 目標を定量化する指標にかかるフォローアップ計画
- 添付様式6 当該地区のまちづくり経験の次期計画や他地区への活かし方
- 添付様式6-参考記述 今後、都市再生整備計画事業の活用予定、又は事後評価を予定している地区の名称(当該地区の次期計画も含む)

(5) 事後評価原案の公表

- 添付様式7 事後評価原案の公表

(6) 評価委員会の審議

- 添付様式8 評価委員会の審議

(7) 有識者からの意見聴取

- 添付様式9 有識者からの意見聴取

(1) 成果の評価

添付様式1－① 都市再生整備計画に記載した目標の変更の有無

	変更		変更前	変更後	変更理由
	あり	なし			
A. まちづくりの目標	-	●	-	-	-
B. 目標を定量化する指標	-	●	-	-	-
C. 目標値	-	●	-	-	-
D. その他()	-	●	-	-	-

添付様式1－② 都市再生整備計画に記載した事業の実施状況(事業の追加・削除を含む)

基幹事業									
事業	事業箇所名	当初計画		最終変更計画		当初計画からの 変更の概要 ※1 (事業の削除・追加を含む)	都市再生整備計画に記載した まちづくり目標、目標を定量化する指標、数値目標等への影響	事後評価時の完成状況	
		事業費	事業内容	事業費	事業内容			完成	完成見込み
道路	水巻町南部地域への交差点改良	80.7	90m	-	-	-	-	●	-
道路	水巻駅への誘導路整備事業	185.5	318m	-	-	-	-	●	-
道路	水巻駅南口前広場整備事業	342.5	5,300㎡	-	-	-	-	●	-
道路	健康増進施設への誘導路整備事業	123.2	499㎡	-	-	-	-	●	-
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

※1:事業費の大幅変更、新規追加がある場合は理由を明記のこと

添付様式2－① 都市再生整備計画に記載した数値目標の達成状況

指 標			データの計測手法と 評価値の求め方 (時期、場所、実施主体、 対象、具体手法等)	(参考)※1 計画以前の値 (ア)		従前値 (イ)		目標値 (ウ)		数値(エ)			目標達成度※2		1年以内の 達成見込みの 有無	
															あり	なし
指標1	JR水巻駅の利用者数	人／日	JR九州より令和3年度の数値を 入手。ただし、従前値と実績値 の段階で数値の取扱いに相違 があるため推計困難。	-	-	4,384	H26	4,468	R3	モニタリング			モニタリング		-	●
										事後評価	確定 見込み	● -	3,324 (推定値)	事後評価	×	
指標2	路線バスの利用者数	人／日	西鉄より令和3年度までの利用 者数を入手。	-	-	61	H27	82	R3	モニタリング			モニタリング		-	●
										事後評価	確定 見込み	● -	21	事後評価	×	
指標3	水巻駅南口利用歩行者 数	人／日	交通量調査を実施。	-	-	朝 390 夕 267	H27	朝420 夕 300	R3	モニタリング			モニタリング		-	-
										事後評価	確定 見込み	● -	朝656 夕 525	事後評価	○	
指標4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	モニタリング			モニタリング		-	-
										事後評価	確定 見込み	- -	-	事後評価	-	
指標5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	モニタリング			モニタリング		-	-
										事後評価	確定 見込み	- -	-	事後評価	-	

指 標	目標達成度○△×の理由 (達成見込み「あり」とした場合、その理由も含む)	その他特記事項 (指標計測上の問題点、課題等)
指標1	コロナ感染症の拡大の影響によって、JRの利用者は大幅に減少、目標年度であるR3は、その影響の最も大きい時期である。R5時点でも旅客収入は、コロナ前を下回っている状況、ただし、R4は改善傾向も見られる。また、指標3での目標達成状況を踏まえれば、今後の改善は期待できる状況。	JR九州 鹿児島線水巻駅の乗降客数は、令和2年度より乗車人員のみの公表となっており、目標年次である令和3年度の乗降者数の把握は困難であり、過去データを基に推計する。
指標2	コロナ感染症の拡大の影響によって、西鉄バスの利用者は大幅に減少しており、目標年度であるR3は、その影響の最も大きい時期である。R5時点でも輸送人員は、コロナ前を下回っている状況ではあるが、指標3の目標達成状況を踏まえれば、今後の改善は期待できる状況。	-
指標3	本指標は、指標1のJR水巻駅の利用者数と連動した指標で、交通実態調査によりデータを取得するものである。しかし、本年(R5)時点のポストコロナ下での調査であり、また、周辺地区人口の増加もあって、目標達成し、期待以上の成果を上げることとなった。	-
指標4	-	-
指標5	-	-

※1 計画以前の値 とは、都市再生整備計画の作成より以前(概ね10年程度前)の値のことをいう。

※2 目標達成度の記入方法

○ : 評価値が目標値を上回った場合

△ : 評価値が目標値には達していないものの、近年の傾向よりは改善していると認められる場合

× : 評価値が目標値に達しておらず、かつ近年の傾向よりも改善がみられない場合

添付様式2－② その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現の計測

指 標			データの計測手法と 評価値の求め方 (時期、場所、実施主体、 対象、具体手法等)	(参考)※1 計画以前の値 (ア)		従前値 (イ)		数値(ウ)			本指標を取り上げる理由	その他特記事項 (指標計測上の問題点、課題 等)
		単位			基準 年度		基準 年度					
その他の 数値指標1	地区人口・社会増減	人	住民基本台帳よりデータ取得。	-	-	+1	H29	モニタリング			街路整備の効果として沿道利用による土地利用の進展が見込まれるため。	当初設定指標は、本事業による利用者数増加を効果として見込んでいたが、コロナの影響によってそれを上回る利用者の減少が生じたため。
								事後評価	確定 見込み	●		
その他の 数値指標2	固定資産税評価額の増減	百万円	固定資産税評価額データより取得	-	-	2,107	H26	モニタリング			街路整備の効果として沿道利用による地域活性化、資産価値向上が見込まれるため。	当初設定指標は、本事業による利用者数増加を効果として見込んでいたが、コロナの影響によってそれを上回る利用者の減少が生じたため。
								事後評価	確定 見込み	●		
その他の 数値指標3	-	-	-	-	-	-	-	モニタリング			-	-
								事後評価	確定 見込み			

※1 計画以前の値 とは、都市再生整備計画の作成より以前(概ね10年程度前)の値のことをいう。

添付様式2－参考記述 定量的に表現できない定性的な効果発現状況

-

(2) 実施過程の評価

・本様式は、都市再生整備計画への記載の有無に関わらず、実施した事実がある場合には必ず記載すること。

添付様式3ー① モニタリングの実施状況

都市再生整備計画に記載した内容 又は、実際に実施した内容	実施状況	実施頻度・実施時期・実施結果	今後の対応方針等
-	予定どおり実施した	-	-
	予定はなかったが実施した	-	
	予定したが実施できなかった (理由)	-	
-	予定どおり実施した	-	-
	予定はなかったが実施した	-	
	予定したが実施できなかった (理由)	-	

添付様式3ー② 住民参加プロセスの実施状況

都市再生整備計画に記載した内容 又は、実際に実施した内容	実施状況	実施頻度・実施時期・実施結果	今後の対応方針等
-	予定どおり実施した	-	-
	予定はなかったが実施した	-	
	予定したが実施できなかった (理由)	-	
-	予定どおり実施した	-	-
	予定はなかったが実施した	-	
	予定したが実施できなかった (理由)	-	

添付様式3ー③ 持続的なまちづくり体制の構築状況

都市再生整備計画に記載した内容 又は、実際に実施した内容	構築状況	実施頻度・実施時期・実施結果		今後の対応方針等
		i. 体制構築に向けた取組内容	ii. まちづくり組織名:組織の概要	
-	予定どおり実施した	-	-	-
	予定はなかったが実施した	-	-	
	予定したが実施できなかった (理由)	-	-	
-	予定どおり実施した	-	-	-
	予定はなかったが実施した	-	-	
	予定したが実施できなかった (理由)	-	-	

(3) 効果発現要因の整理

添付様式4－① 効果発現要因の整理にかかる検討体制

名称等	検討メンバー	実施時期	担当部署
庁内都市再生整備計画事業検討部会	建設課、企画課、福祉課、 地域づくり課、教育委員会	R5.10～R5.11	建設課

添付様式4－② 数値目標を達成した指標にかかる効果発現要因の整理

指標の種別		指標1		指標2		指標3		－	
指 標 名		JR水巻駅の利用者数		路線バスの利用者数		水巻駅南口利用歩行者数		－	
種別	事業名・箇所名	指標改善 への 貢献度	総合所見	指標改善 への 貢献度	総合所見	指標改善 への 貢献度	総合所見	指標改善 への 貢献度	総合所見
基幹事業	水巻町南部地域への交差点改良		－		－	○	基幹事業群による総合的な駅南口の整備事業によって、交通流動の円滑化、沿道土地利用の促進が図られ、駅南口周辺の地区人口が増加したものと推定。それによって、駅南口利用者也ポストコロナ下においては期待以上の成果を得ることができた。		－
	水巻駅への誘導路整備事業					○			
	水巻駅南口前広場整備事業					○			
	健康増進施設への誘導路整備事業					○			
提案事業									
関連事業									

※指標改善への貢献度
◎：事業が効果を発揮し、指標の改善に直接的に貢献した。
○：事業が効果を発揮し、指標の改善に間接的に貢献した。
△：事業が効果を発揮することを期待したが、指標の改善に貢献しなかった。
－：事業と指標の間には、もともと関係がないことが明確なので、評価できない。

今後の活用	コロナ感染症拡大(自粛要請)時の状況を把握したものであって、指標3の成果を踏まえれば、今後、ある程度の増加は想定される。	コロナ感染症拡大(自粛要請)時の状況を把握したものであって、指標3の成果を踏まえれば、今後、ある程度の増加は想定される。	－	－
-------	--	--	---	---

添付様式4－③ 数値目標を達成できなかった指標にかかる効果発現要因の整理

指標の種別		指標1			指標2			指標3					
指 標 名		JR水巻駅の利用者数			路線バスの利用者数			水巻駅南口利用歩行者数					
種別	事業名・箇所名	目標未達成への影響度	総合所見	要因の分類	目標未達成への影響度	総合所見	要因の分類	目標未達成への影響度	総合所見	要因の分類	目標未達成への影響度	総合所見	要因の分類
基幹事業	水巻町南部地域への交差点改良	△	コロナ感染症の拡大によって、移動が抑制されたことによる利用者数の減少は、本事業で得られる効果を大きく上回っていると推察され、現時点でも利用者数が、コロナ感染症拡大事前に戻っていないことから、効果の計測は困難である。	Ⅲ	△	コロナ感染症の拡大によって、移動が抑制されたことによる利用者数の減少は、本事業で得られる効果を大きく上回っていると推察され、現時点でも利用者数が、コロナ感染症拡大事前に戻っていないことから、効果の計測は困難である。	Ⅲ		-	-		-	-
	水巻駅への誘導路整備事業	△			△								
	水巻駅南口前広場整備事業	△			△								
	健康増進施設への誘導路整備事業	△			△								
提案事業													
関連事業													

※目標未達成への影響度
××：事業が効果を発揮せず、指標の目標未達成の直接的な原因となった。
×：事業が効果を発揮せず、指標の目標未達成の間接的な原因となった。
△：数値目標が達成できなかった中でも、ある程度の効果をあげたと思われる。
－：事業と指標の間には、もともと関係がないことが明確なので、評価できない。

※要因の分類
分類Ⅰ：内的な要因で、予見が可能な要因。
分類Ⅱ：外的な要因で、予見が可能な要因。
分類Ⅲ：外的な要因で、予見が不可能な要因。
分類Ⅳ：内的な要因で、予見が不可能な要因。

改善の方針 (記入は必須)	R4の利用者数は改善傾向にあり、また、指標3の目標達成状況を踏まえれば、今後、改善傾向が期待される。 また、利用者数が従前値程度に戻らないことを想定し、移動人数にかからない評価指標にて検討することも想定される。	ポストコロナ下における指標3に見られる目標達成状況を踏まえれば、今後、徐々に改善傾向となることが期待される。 また、利用者数が従前値程度に戻らないことを想定し、移動人数にかからない評価指標にて検討することも想定される。	-	-
------------------	--	--	---	---

(4) 今後のまちづくり方策の作成

添付様式5-① 今後のまちづくり方策にかかる検討体制

名称等	検討メンバー	実施時期	担当部署
庁内都市再生整備計画事業検討部会	建設課、企画課、福祉課、 地域づくり課、教育委員会	R5.10～R5.11	建設課

添付様式5-② まちの課題の変化

事業前の課題 都市再生整備計画に記載 したまちの課題	達成されたこと(課題の改善状況)	残された未解決の課題	事業によって発生した 新たな課題
南側に通じる道は両側1車線の 道路であるが、歩道が狭く往来す る車両と自転車及び歩行者が危 険な通行を強いられている。	駅周辺道路の歩道の拡幅により、歩行者通行の安全 性の向上が図られた。	-	駅周辺での新築動向より、更なる人口増加が想定されるた め、需要動向に勘案し、駐輪施設の増強、歩行空間の安全 性確保を検討する必要がある。
健康増進施設が開業されると 施設利用者による通行増加 が予想される。	駅周辺部での新たに開業した健康増進施設、商業施設 の接続道路の歩道拡幅によって、歩行者の安全な通行 が確保されている。	-	
東側に通じる道路は、隣接する八幡 西区の高校に通う歩行者が多く、朝 夕の通学時には、通行車両と、送迎 で一旦停車する車、及び歩行者で混 雑する。	水巻駅前広場の整備によって、通学時送迎の車両滞留 はスムーズになっている。	-	
-	-	-	

これを受けて、成果の持続にかかる今後のまちづくり方策を添付様式5-③A欄に記入します。

これを受けて、改善策にかかる今後のまちづくり方策を添付様式5-③B欄に記入します。

添付様式5ー③ 今後のまちづくり方策

A欄 効果を持続させるため に行う方策	効果の持続を図る事項	効果を持続させるための基本的な考え方	想定される事業
	駅前広場の有効活用、維持管理	駅前広場について、駅周辺の人口増加に対応して、利活用の増進とともに、利用しやすい改善策の検討、維持管理を行う。	・駅前広場の植生の適切な維持管理 ・地域住民の積極的な参加機会の検討
	地域住民の交流機会の促進	地域、行政の連携による駅前広場の活用促進	・駅前広場の交流の場としての活用
	-	-	-

B欄 改 善 策 ・未達成の目標を達成するための改善策 ・未解決の課題を解消するための改善策 ・新たに発生した課題に対する改善策	改善する事項	改善策の基本的な考え方	想定される事業
	交通結節機能の更なる強化	・需要動向に対応した駐輪施設の増強 ・ポストコロナの働き方の変化、需要動向に対応したP&R駐車場等の検討	・公共交通の利用促進策の検討
	まちなか居住の更なる促進	・生活利便の向上にめけた街路沿道の土地利用の促進 ・駅前に相応しい集合住宅の建設促進	・優良な民間住宅建設の支援 ・地域環境の改善に向けた利用者ニーズの把握
	-	-	-

フォローアップ又は次期計画等
において実施する改善策
を記入します。

なるべく具体的に記入して下さい。

■様式5ー③の記入にあたっては、下記の事項を再確認して、これらの検討結果を踏まえて記載して下さい。(チェック欄)

●	交付金を活用するきっかけとなったまちづくりの課題(都市再生整備計画)を再確認した。
●	事業の実施過程の評価(添付様式3)を再確認した。
●	数値目標を達成した指標にかかる効果の持続・活用(添付様式4ー②)を再確認した。
●	数値目標を達成できなかった指標にかかる改善の方針(添付様式4ー③)を再確認した。
●	残された課題や新たな課題(添付様式5ー②)を再確認した。

添付様式5ー参考記述 今後のまちづくり方策に関するその他の意見

無し

添付様式5-④ 目標を定量化する指標にかかるフォローアップ計画

・フォローアップの要否に関わらず、添付様式2-①、2-②に記載した全ての指標について記入して下さい。
・従前値、目標値、評価値、達成度、1年以内の達成見込みは添付様式2-①、2-②から転記して下さい。

・評価値が「見込み」の全ての指標、目標達成度が△又は×の指標、1年以内の達成見込み「あり」の指標について、確定値を求めるためのフォローアップ計画を記入して下さい。

指 標		単位	従前値		目標値		評価値			目標達成度	1年以内の達成見込みの有無		フォローアップ計画		
			年度		年度		確定	見込み			あり	なし	予定時期	計測方法	その他特記事項
指標1	JR水巻駅の利用者数	人／日	4,384	H26	4,468	R3	確定 ● 見込み -	3,324 (推定値)	×	×	あり なし	●	未定	指標3より、南口利用者数が大幅に増加しているため、JR九州よりR5の数値を入手し確認。	-
指標2	路線バスの利用者数	人／日	61	H27	82	R3	確定 ● 見込み -	21	×	×	あり なし	●	未定	指標3より、南口利用者数が大幅に増加しているため、西鉄よりR5の数値を入手し確認。	-
指標3	水巻駅南口利用歩行者数	人／日	朝 390 夕 267	H27	朝 420 夕 300	R3	確定 ● 見込み -	朝 656 夕 525	○	○	あり なし		-	-	-
指標4	-	-	-	-	-	-	確定 - 見込み -	-	-	-	あり なし		-	-	-
指標5	-	-	-	-	-	-	確定 - 見込み -	-	-	-	あり なし		-	-	-
その他の数値指標1	地区人口・社会増減	人	+1	H29			確定 ● 見込み -	+30					-	-	-
その他の数値指標2	固定資産税評価額の増減	百万円	2,107	H26			確定 ● 見込み -	2,392					-	-	-
その他の数値指標3	-	-	-	-			確定 - 見込み -	-					-	-	-

添付様式6 当該地区のまちづくり経験の次期計画や他地区への活かし方

・下表の点について、特筆すべき事項を記入します。

項目		要因分析	次期計画や他地区への活かし方
数値目標 ・成果の達成	うまくいった点	・外出自粛解除後のポストコロナ下で確認した指標3(水巻駅南口利用歩行者数)については、期待を大幅に上回る成果が確認された。	・その他指標として人の移動にかからない目標を設定したところ、成果が確認された。そのため、今後は、数値目標の設定にあたっては、人口動向、不動産価値の向上等に関する目標の設定も検討する。
	うまくいかなかった点	・数値目標については、基幹事業が南口駅前広場整備、関連街路事業としたため、人の移動に関する成果を重視して設定した。しかし、指標1(JR水巻駅の利用者数)、指標2(路線バスの利用者数)コロナ感染症の拡大により、人の移動に制約がかかったため、十分な成果を確認できなかった。	
数値目標と 目標・事業との 整合性等	うまくいった点	・駅南口の街路事業を中心に基幹事業を構成したことにより、周辺の交通流動の増加、沿道土地利用の促進が図られ、周辺の地区人口の増加によって、指標3(水巻駅南口利用歩行者数)については成果が確認された。	-
	うまくいかなかった点	・まちづくりの課題に対応した各種事業を計画し、成果として関連性の高い人の移動に関する数値目標としたが、コロナ感染症の拡大によって、事業実施の成果が把握できないほど、人の移動に影響あった。	
住民参加 ・情報公開	うまくいった点	-	-
	うまくいかなかった点	-	
PDCAによる事業 ・評価の進め方	うまくいった点	-	-
	うまくいかなかった点	-	
その他	うまくいった点	-	-
	うまくいかなかった点	-	

添付様式6ー参考記述 今後、まちづくり交付金の活用予定、又は事後評価を予定している地区の名称(当該地区の次期計画も含む)

無し

(5) 事後評価原案の公表

添付様式7 事後評価原案の公表

公表方法	具体的方法	公表期間・公表日	意見受付期間	意見の受付方法	担当部署
インターネット	HP掲載(パブコメ)	R6.2.1～R6.2.14	R6.2.1～R6.2.14	窓口へ書面の提出	建設課都市計画係
広報掲載・回覧・個別配布	広報にパブコメ募集の掲載	R6.1.25	R6.2.1～R6.2.14		
説明会・ワークショップ	-	-	-		
その他	窓口閲覧	R6.2.1～R6.2.14	R6.2.1～R6.2.14		

住民の意見	無し
-------	----

(6) 評価委員会の審議

添付様式8 評価委員会の審議

委員構成		実施時期	担当部署	委員会の設置根拠	委員会の母体組織
学識経験のある委員	-	-	-	-	-
その他の委員	-				

審議事項※1		委員会の意見
事後評価手続き等にかかる審議	方法書	-
	成果の評価	-
	実施過程の評価	-
	効果発現要因の整理	-
	事後評価原案の公表の妥当性	-
	その他	-
	事後評価の手続きは妥当に進められたか、委員会の確認	-
今後のまちづくりについて審議	今後のまちづくり方策の作成	-
	フォローアップ	-
	その他	-
	今後のまちづくり方策は妥当か、委員会の確認	-
その他		-

※1 審議事項の詳細は「まちづくり交付金評価委員会チェックシート」を参考にしてください。

(7) 有識者からの意見聴取

添付様式9 有識者からの意見聴取

・この様式は、効果発現要因の整理(添付様式5)、今後のまちづくり方策の検討(添付様式6)、まちづくり交付金評価委員会の審議(添付様式9)以外の機会に、市町村が任意に有識者の意見聴取を行った場合に記入して下さい。

意見聴取した有識者名・所属等	実施時期	担当部署
-	-	-
-	-	-

有識者の意見	-
--------	---

都市再生整備計画(第3回変更)

ころす えみなみ ち く
頃末南地区

ふくおか おん が ぐ ん み ず ま き ま ち
福岡県 遠賀郡水巻町

令和5年2月

・様式は、A4長辺側を、2箇所ホチキス留めすること。

都市再生整備計画の目標及び計画期間

様式(1)-②

都道府県名	福岡県	市町村名	遠賀郡水巻町	地区名	頃末南地区	面積	20.6	ha
計画期間	平成 30 年度 ~ 令和 4 年度	交付期間	平成 30 年度 ~ 令和 4 年度					

目標
【大目標】駅周辺における、交通拠点としての機能充実と、安全性を高めるまちづくり 目標1: 町の交通拠点として機能している水巻駅南口周付近の安全な都市基盤整備 目標2: 路線バスや福祉バスの乗り入れを可能にし、交通拠点としての充実 目標3: 駅利用の利便性向上による都市機能の充実
目標設定の根拠
まちづくりの経緯及び現況 【経緯】 ・第4次総合計画後期基本計画の基本方針の一つうおいのあるまちづくりの中で主要施策として、駅周辺開発による都市機能の充実を土地利用の進展を踏まえながら検討するとしている。 ・水巻駅は、北九州、及び福岡都市圏と本町を結ぶ重要な交通拠点であり、駅周辺の都市機能を充実することは、定住を促進する重要課題である。 ・駅周辺の歩道を整備することで、駅周辺の利便性を高め、機能の的な都市基盤が整備される。 ・平成26年度から平成27年度にかけて、JR水巻駅においては、バリアフリー化工事を行い、北側ホームにはスロープと多目的トイレ、南側ホームにはエレベータが設置された。 ・長年、私有地を賃貸借し、狭小な駐輪場を連絡通路として、南口への入口につないでいたが、H27年、地権者との協議を繰り返し、駐輪場を含めた水巻町南口周辺の土地1685㎡を町有地とした。 【現況】 ・水巻駅には、バスの乗降場、タクシー会社、私設の駐車場、町営駐輪場、が位置し、各種交通手段の結節機能を有している。 ・水巻駅の乗降者数は平成26年度でおよそ160万人(約4,380人/日)となっている。水巻駅への入口は北側と南側の2箇所ある。北側は国道三号線からの距離が短く、十分な空間がとれない。 ・水巻駅南口は平成7年に整備したが、駅前の土地は私有地で、月極駐車場として利用されていた。その一部を駐輪場として借地をし、利用していたが、接する道路は十分な広さは無く、交差点・踏切が近いことから、送迎車両と通過車両により混雑している。 ・平成30年度に健康増進施設予定地の整地(単独費)を行い、令和元年度以降に施設誘致を行う計画を進めている。
課題
・南側に通じる道は両側1車線の道路であるが、歩道が狭く往来する車両と自転車及び歩行者が危険な通行を強いられている。 ・健康増進施設が開業されると施設利用者による通行増加が予想される。 ・東側に通じる道路は、隣接する八幡西区の高校に通う歩行者が多く、朝夕の通学時には、通行車両と、送迎で一旦停車する車、及び歩行者で混雑する。 ・水巻駅南口では、近年私設の駐車場が急速に減少し、駐車場を利用していたJR利用者に不便をきたしている。
将来ビジョン(中長期)
・第4次水巻町総合計画において、「人が輝き、安心して暮らせる町 みずまき-自然と文化につつまれて-」を将来像として、3つの基本理念を掲げ、その実現のために7つの基本方針を挙げている。 ・7つの基本方針のうち「うおいのある魅力的なまちづくり」の実現に向けた重要施策として「JR駅周辺開発による都市機能の充実」を掲げ、魅力ある市街地と都市景観の整備を目指している。

目標を定量化する指標							
指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値	基準年度	目標値	目標年度
JR水巻駅の利用者数	人/日	JR水巻駅の乗降車数(JR調査)	JR水巻駅の乗降者数の増加により、交流人口が拡大され地域の活性化が促進される	4,384	平成26年度	4,468	令和3年度
路線バスの利用者数	人/日	水巻南部循環線の乗降者数(北九州市交通局調べ)	南部循環線の利用者の増加により、頃末南地域を含めた、水巻町南部地域の住民移動の安全性を高め地域の活性化を促進する	61	平成27年度	82	令和3年度
水巻駅南口利用歩行者数	人/日	ピーク時歩行者数(朝6～9時、夕17～20時)	水巻駅南口周辺の安全性を高め、徒歩による利用者が増えることが、交通拠点としての機能の充実の指針となる。	朝 390 夕 267	平成27年度	朝420 夕 300	令和3年度
-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-

計画区域の整備方針		方針に合致する主要な事業
<div>■整備方針1:JR水巻駅南口周辺の整備による安全性・利便性の向上</div> <div>・駅南口広場を整備し送迎用車両の乗り入れ、路線バスの乗降場を設け、新たに駐車場を整備することで、駅利用者の安全性・利便性の向上を図る。</div> <div>・接続する道路の歩道の拡幅により、通勤通学における自転車や歩行者の安全性を図る。</div>		■基幹事業:道路(水巻駅南口前広場整備事業)
	<div>■整備方針2:交通拠点としての交通結節機能の充実</div> <div>・南口広場を整備し、路線バス町運営の福祉バスを乗り入れすることで、利用者の利便性を向上させ、町の玄関口としての機能充実を図る。</div> <div>・JR水巻駅の駅舎は従来北口であるが、北口付近は十分なスペースが確保できず、南口を結節点とした方が有効である。</div>	■基幹事業:道路(水巻町南部地域への歩道整備事業) :道路(水巻駅への誘導路整備事業) :道路(水巻駅南口前広場整備事業)
	<div>■整備方針3:健康増進を目的とした温浴施設への利用者を含めた通行者の安全性の確保</div> <div>・水巻駅南側道路(頃末・二線)の歩道を拡幅整備し、施設の利用者を含めた水巻駅から南部地区への通行者の安全性を向上させる。</div> <div>・歩道拡幅と合わせてバスカットを設置し、施設最寄りのバス停を新設する。</div>	■基幹事業:道路(健康増進施設への歩道整備事業)
その他		

様式(1)-④-2

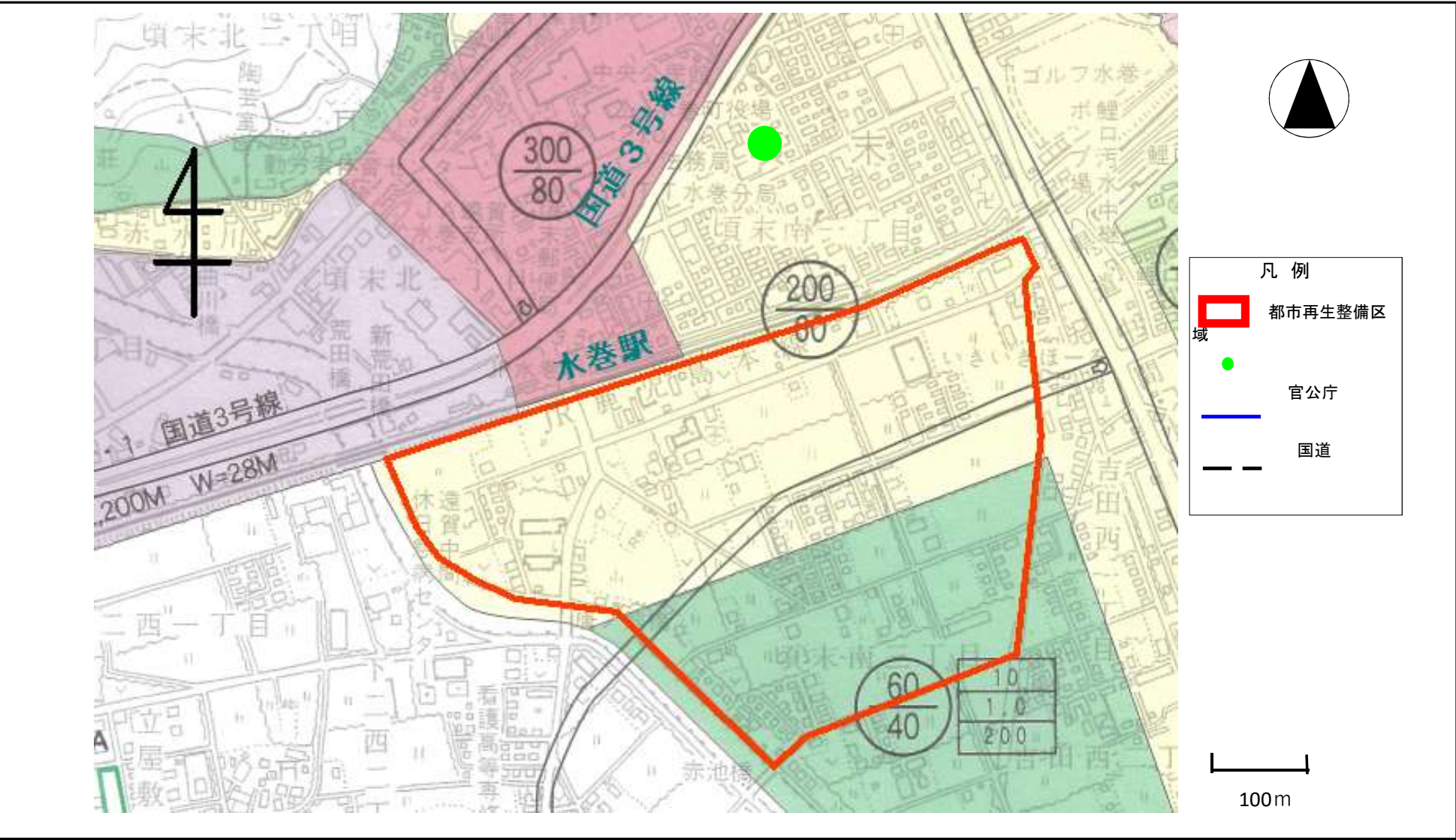
(金額の単位は百万円)

...A

...B

[illegible]

コロエミ ミナミ チク フクオカ ケン オンバダン ミズマキマチ	面積	20.6	ha	区域	福岡県遠賀郡水巻町頃末南三丁目
--	----	------	----	----	-----------------



頃末南地区(福岡県水巻町) 整備方針概要図(都市再生整備計画事業)

目標	【大目標】駅周辺における、交通拠点としての機能充実と、安全性を高めるまちづくり 目標1:町の交通拠点として機能している水巻駅南口周付近の安全な都市基盤整備 目標2:路線バスや福祉バスの乗り入れを可能にし、交通拠点としての充実 目標3:駅利用の利便性向上による都市機能の充実	代表的な指標	JR水巻駅の利用者数 (人/日)	4384	(平成26年度) →	4468	(令和3年度)
			路線バスの利用者数 (人/日)	61	(平成27年度) →	82	(令和3年度)
			水巻駅南口利用歩行者数 (人/日)	朝 390 夕 267	(平成27年度) →	朝420 夕 300	(令和3年度)
			-	-	-	-	-
			-	-	-	-	-

